



2008 年（平成 20 年）5 月 9 日

「第 1 回マンダム動物実験代替法国際研究助成金公募」 助成テーマ 4 件決定

株式会社マンダム（本社：大阪市、社長執行役員：西村元延 以下マンダム）は、動物愛護の考えのもと、動物実験代替法の開発に取り組んでおります。その研究の一環として、昨年、日本動物実験代替法学会の全面的なご協力のもと「マンダム動物実験代替法国際研究助成金公募」を行い、厳正な審査の結果、4 件の研究テーマが助成交付に決定いたしました。各研究テーマに対しましては、4 月より研究助成を開始しております。

【動物実験代替法が開発される背景】

近年世界各国で動物愛護運動が高まってきています。それに伴い、欧州連合（EU）では、2004 年から化粧品製品の動物実験は全面禁止となり、また化粧品の原料についても、2009 年に全ての動物実験が禁止になります。さらに、2013 年には動物実験を行った原料を含む化粧品の製品すべてが販売禁止になります。

日本でも、3Rs（Replacement：動物実験の置換、Reduction：動物使用数の削減、Refinement：実験時の動物への苦痛の軽減）の概念に則って、動物実験の見直しが動物愛護の観点から社会的に重要視される傾向があり、動物実験代替法の開発が活発になってきました。

一方、化粧品の安全性は、様々な方法で確認する必要があります。マンダムでは、現在可能な限り動物を使用しない方法にて評価を行っていますが、今後さらなる安全性確保のためには、より進んだ動物実験代替法の開発が急務となっています。

現在 3Rs の中でも、「Replacement」に着目し、動物実験代替法の開発に取り組んでいますが、その一環として、日本動物実験代替法学会様の全面的なご協力のもと、動物実験代替法研究助成金の公募を行いました。

【動物実験代替法マンダム国際研究助成金公募】

動物実験代替法に関する研究を進めるために、「動物実験代替法マンダム国際研究助成金公募」を行い、以下の条件にて、アジアを中心とした世界中から動物実験代替法に関する研究テーマを募りました。

本助成金の目的は、動物実験代替法における研究を広く奨励し、代替法分野における研究の活性化を図ることにあります。代替法分野の研究が活性化することによって、社会に貢献することが可能であると考えられます。

・募集要項

- ①テーマ 動物実験代替法に関する研究
- ②助成内容 1件あたり50万円～200万円、総額500万円/年間
- ③スケジュール
2007年 8月1日(水) 募集開始
12月31日(月) 募集締切
2008年 1月初旬～ 選考開始
1月下旬 助成対象者発表
4月～ 助成開始(1年間)

【助成対象テーマ】

「第1回マンダム動物実験代替法国際研究助成金公募」は、2007年12月31日で締め切らせていただきました。今回は多数の応募をいただきました。厳正な審査の結果、今回の研究助成交付は以下のように決定いたしました。

研究助成交付者(所属) 敬称略	研究課題
杉林 堅次 (城西大学薬学部)	異なるヒト三次元培養皮膚モデルによる化合物の浸透性
黒澤 努 (大阪大学医学部)	緑色蛍光タンパク質を取り込んだES及びiPS細胞を用いた動物実験代替法の確立
Jae Hak Park (ソウル国際大学)	ウシ角膜混濁試験(BCOP)のバリデーション及び、皮膚刺激試験へのスキンモデルの導入
Lee Jeong Ik (東海大学医学部)	腹腔内注射による麻酔薬の腹腔内投与が内臓臓器に及ぼす有害性および、問題点に関する考察

なお、「第2回マンダム動物実験代替法国際研究助成金公募」につきましても、昨年と同じ条件で行う予定にしております。

以上

この件についてのお問い合わせ先

株式会社マンダム PR担当 酢谷 TEL 06-6767-5013